

令和6年度 第3回 白脇小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年1月31日（金） 13時15分から15時00分まで
- 2 開催場所 白脇小学校 会議室
- 3 出席委員 田口 博、鶴屋 義照、柳川 樹一郎、清水 哲夫、外波山 裕康、
望月 真菜（学校支援コーディネーター兼務）、大石 絵理
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 齋田 剛志（白脇協働センター コミュニティ担当）
- 6 学 校 神 宏之（校長）、大石 みや（教頭）、安川 剛史（教頭）、
河口 裕之（主幹）、植田 敬子（CSディレクター・学校支援コーディネーター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 植田 敬子
- 9 議長の選出

司会の河口から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、鶴屋副会長から田口会長の推薦があった。全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1） 学校評価から
 - ・〈頭〉「CSボランティアの」の活躍について
 - ・〈体〉運動技能・知識の向上を目的とした年間通しての活動について
 - ・〈心〉いじめの防止についての取り組みについて
- （2） 次年度の学校運営の基本方針の概要説明
- （3） 学校運営協議会の自己評価

11 会議記録

司会の河口から、委員総数全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校評価から

議長の指示により、主幹から別紙資料に基づき、学校評価について〈頭〉〈体〉〈心〉別に、事前アンケートの結果の報告があった。また大石教頭から、別紙資料とスライドを基に、今年度の活動、ボランティアの方々へのアンケート結果、現時点での登録ボランティアの人数、CSボランティアの成果と課題についての報告があった。最後に校長より、下記の検討している改善策について、熟議してほしいと要望があった。

①学校評価の「学校が楽しい」「勉強が分かる」の肯定的な回答が増加したのは、CSボランティアの活躍も大きい→登録ボランティアの範囲を広げるなど、来年度にも繋げていく案

②部活動がなくなること、体力向上機会の減少が考えられる。体力維持のため、体力アップ100点カードを試作中。見取る人、場所、時間の確保をどうするか。

③いじめ防止に対して、学校運営協議会での熟議を受けた発信や、いじめ認知件数の減少の状況について説明を行い、今年度の取り組みの成果が表れているとのこと。

委員からは、以下の発言があった。

<CS ボランティアについて>

- ・ 今は 70 才を超えても仕事をしていて、子供に関われる大人が減ってきている。その中で、どこで、誰が見取れるのかが課題。(外波山委員)
- ・ 学校内だけでなく、地域を巻き込む取り組みを学校に求めたい。(柳川委員)
キャリア教育、職業教育の講師になれる人材の発掘。(清水委員)

<運動機能の向上について>

- ・ 子供会の活動や協働センターの運動教室の活用など、定期的な運動の機会を提供する場の重要性。保護者も子供のために、子供会などに積極的に参加すべき。(柳川委員)→習い事をやっている子供は土日も予定がある。何もやっていない子供に関しては、親が付き添いや送迎をできない人が多い現状がある。(望月委員)
- ・ 学校活動と町内活動を分けて考える人が近年増えているが、幅広い受け入れ体制を模索していかなければならない。(清水委員)
- ・ 中学の部活がどうなっていくのか不安はあるが、部活一辺倒の選択だけでなく、好きなことを見つけられるよいチャンスととらえている。好きなことを見つけられるような興味を持つようなことを発信してほしい。(望月委員、大石委員)

<100 点アップカードについて>

- ・ 教育課程視点ではなく、子供たちの視点で目標評価できるカードを作成した方が、子供たちが長続きするのでは。(鶴屋委員)
- ・ ハードルの低いところから始めて、意欲を高めてからレベル別に自己評価できるものを作成してはどうか。(外波山委員)
- ・ 保護者や地域の人にも協力をお願いする場合、責任はどこが持つか。(鶴屋委員)
- ・ 朝時間、すき間時間等を使って、ラジオ体操など簡単なことから始めるといい。(清水委員)

<いじめ防止の取り組みについて>

- ・ 今回の熟議の中で、いじめ防止に関する意見は特に出ませんでした。

(2) 次年度の学校運営の基本方針の概要説明

校長より、教育委員会より策定された来年度の「目指すこどもの姿」が今年度白脇小学校として取り組んでいる学校教育目標と合致しているので、来年度も今年度を継続していく旨を説明。出席者全員から承認を得た。

(3) 学校運営協議会の自己評価

田口会長が作成した市教委に提出する学校運営協議会自己評価を、各自読み、補足することがあるか問う。委員からは以下の発言があった。

- ・ 地域への認知度を高めるために、協働センター祭などで、絵画・習字など展示したり、CS ボランティアの活動報告や、登録ボランティアを紹介するコーナーを作ってはどうか。(清水委員)

(4) その他の連絡事項

- ・ 安川教頭から夢育やらまいか(CS 加算分)の使途の報告があった。
- ・ 司会から、次回会議は、令和 7 年 5 月 22 日(木)午後 13 時 15 分から会議室で開催する旨の報告があった。